

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

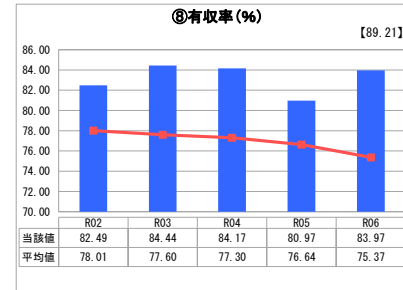
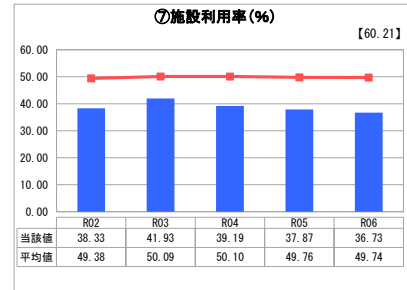
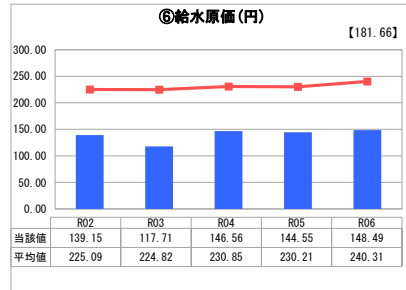
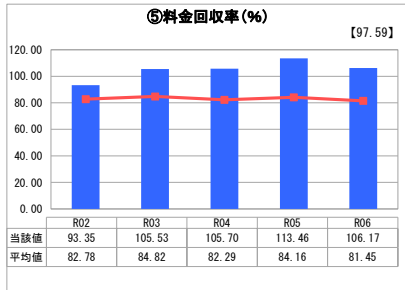
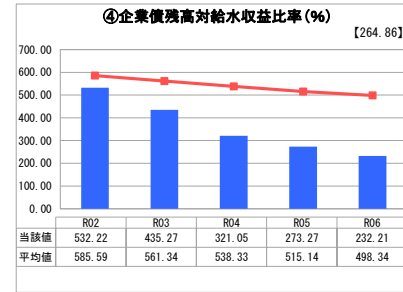
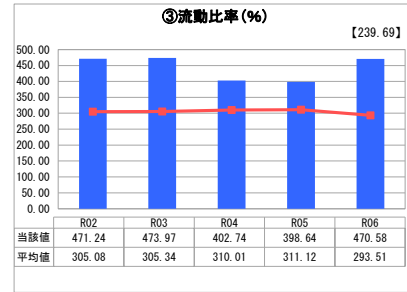
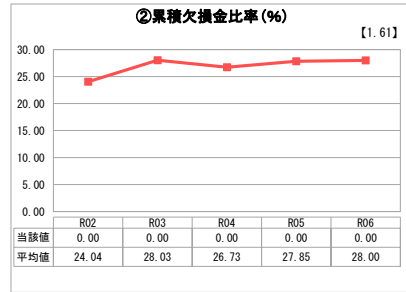
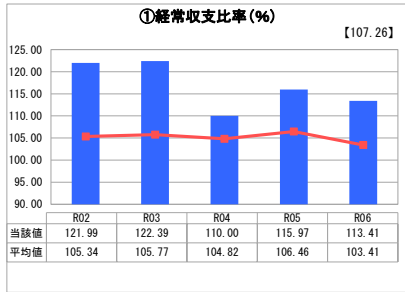
滋賀県 甲良町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A8	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)	
-	84.23	100.00	3,300	

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
6,410	13.63	470.29
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
6,362	13.62	467.11

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
【	令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 分析欄

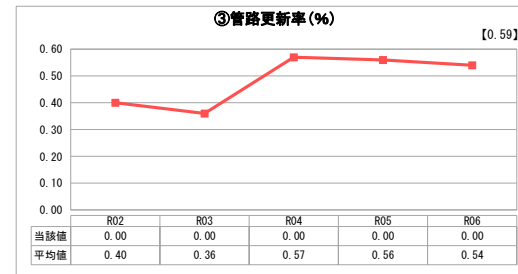
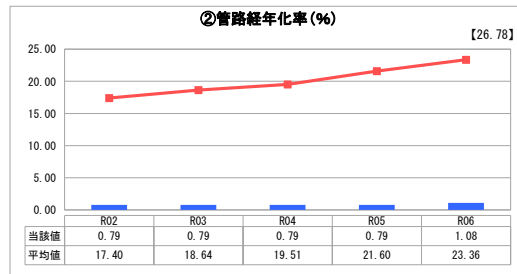
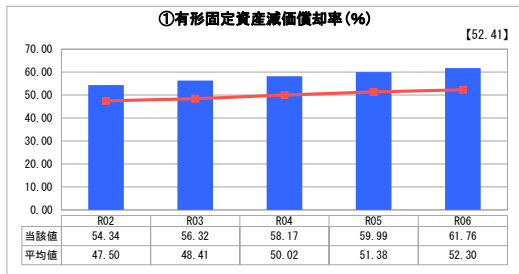
### 1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率や流動比率・料金回収率などの指数については、全国平均を上回っており概ね健全な状態である。人口減少などの影響も含め施設利用率が恒常的に全国平均や類似団体よりも下回っていることから広域化・共同化の取り組みとして隣接町への用水供給事業を踏まえ、施設利用率の向上に努める必要がある。また、有収率については、漏水調査の実施によって修繕を行った結果、微増ではあるが改善傾向になったが、依然、全国平均を下回っていることから維持管理の観点から継続的に調査・修繕に取り組む必要がある。

### 2. 老朽化の状況について

本町水道事業において、配水管（本管・枝管）及び給水管は、公共下水道の整備に併せて布設替工を実施したことから現時点では、老朽化は進んでいないが、今後耐用年数を越える管が出てくることから、更新（耐震管等）を計画的に行う必要がある。

## 2. 老朽化の状況



## 全体総括

現状本町の水道事業運営について、安定しているように見えるが、今後の少子高齢化に伴う人口減少により給水収益の減収や光熱水費や資機材等による維持監理費の高騰に加え、管路や施設の老朽化による更新費用の確保を考えると、営業利益の確保を行い将来投資のための資金を蓄えとともに経営上の合理化（広域化等）を検討する必要がある。